



しほろ

平成25年 8月 No.149

議会だより

■発行／士幌町議会 ■編集／士幌町議会広報特別委員会
ホームページアドレス <http://www.shihoro.jp/assembly/>



旗波運動で交通安全の呼びかけ(7月16日 国道241号線)

6月定例会

審議した主な議案～国保税条例改正ほか…2ページ

一般質問

「美濃市との災害時相互応援協定について」
ほか4件…4ページ

一般質問 追跡レポート

その後どうなったの!?……………7ページ

かけ橋

「会長就任にあたって」
士幌町社会福祉協議会 会長 鎌田 弘美さん …8ページ



こぐまクラブ交通安全教室(6月20日 下居辺保育所)

平成25年
第2回
定例会

国民健康保険税の条例改正

5年ぶりの改正 医療分は据え置き

第2回定例会が、6月13日から21日までの会期で開会。

初日は、町長、教育長からの行政報告の後、例月出納検査報告、陳情審査報告（産業厚生常任委員会）ほか3件の報告。

17日は、5人の議員が一般質問に登壇。

18日は、一般議案4件、一般会計補正予算、工事請負契約の締結1件、意見書案5件を審議し、全ての議案を原案どおり可決し18日に閉会した。
主な審議内容は次のとおり。



6月定例会の様子

国保条例の改正

【税率改正】

後期高齢者支援金および介護納付金分の税率を改正。

【後期高齢者医療制度に伴う激変緩和措置】

①低所得者に対する軽減判定が5年間から恒久措置に変更。

②平等割軽減措置の対象者に最大5年間軽減措置が講じられていたが8年間に変更。

国保税の改正

区分	改正前	改正後
医療分 (加入者全員)	所得割 4.46% 資産割 11.18% 均等割 26,400円 平等割 28,400円	据え置き 据え置き 据え置き 据え置き
後期高齢者 支援金分 (加入者全員)	所得割 1.48% 資産割 9.82% 均等割 7,700円 平等割 9,700円	2.3% 据え置き 9,500円 11,800円
介護納付金分 (40~64才)	所得割 0.50% 資産割 4.30% 均等割 8,500円 平等割 6,500円	0.58% 据え置き 9,500円 9,200円

【反対討論】

清水秀雄議員

改正により低所得者や中間層の負担が増える。国庫負担の引き上げを求めて国保財政の健全化に努力すべきであり、改正には反対する。

第2回定例会で審議・可決等された案件

●報告

- 町行政報告・教育行政報告
- 例月出納検査報告
- 平成24年度士幌町一般会計繰越明許費繰越計算書について
- 株式会社士幌町物産振興公社の経営状況の報告について
- 株式会社バリオールの経営状況の報告について

結果

賛・反

●条例の一部改正

- 士幌町国民健康保険税条例

結果

賛・反

●一般議案

- 辺地総合整備計画の変更について
- 辺地総合整備計画の策定について
- 北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について
- 工事請負契約の締結について
- 議員派遣の件

●平成25年度各会計補正予算

- 一般会計（第1号）

結果

賛・反

●陳情

- 町道士幌東6線の道路改良について（産業厚生常任委員会審査報告）

結果

賛・反

●意見書

- 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元、「30人以下学級」の実現をめざす教職員定数改善、就学保障充実など2014年度国家予算編成における教育予算確保・拡充にむけた意見書
- 道教委「新たな高校教育に関する指針」の見直しと地域や子どもの実態に応じた高校づくりの実現を求める意見書
- 地方財政の充実・強化を求める意見書
- 平成25年度北海道最低賃金改正等に関する意見書
- 札幌航空交通管制部の存続を求める意見書

結果

賛・反

●意見書

- 道教委「新たな高校教育に関する指針」の見直しと地域や子どもの実態に応じた高校づくりの実現を求める意見書
- 地方財政の充実・強化を求める意見書
- 平成25年度北海道最低賃金改正等に関する意見書
- 札幌航空交通管制部の存続を求める意見書

結果

賛・反

賛成討論 服部悦朗議員

前回の税率改正から5年が経過し医療費が増加傾向で歳出超過の状況である。制度の維持、国保財政の健全な運営を図るため適切な措置であり賛成する。

※討論後の採決で、反対2人、賛成9人で原案ごおり可決。

陳情審査報告 産業厚生常任委員会

陳情件名 町道土幌東6線の道路改良について

陳情者 代表者 岡本達幸
ほか100名

審査結果 採択

※委員会報告後の採決で、全員賛成により報告ごおり採択と決定。

工事請負契約の締結

工事名 土幌町簡易水道事業に伴う電気設備工事
契約金額 6510万円
契約相手 ㈱東芝北海道支社
工期 平成26年3月10日
契約方法 指名競争入札

一般会計補正予算

歳入歳出の総額にそれぞれ1億777万7千円を追加し、総額70億3277万7千円とする補正予算を可決。

主な補正内容は次のとおり。

【総務費】

●住宅用太陽光発電システム導入事業助成金 280万円

●防災情報通信設備自動起動装置設置委託料 1716万円

【農林業費】

●強い農業づくり事業補助金 2619万円

●明渠排水工事 1400万円

●工事支障物件移転補償費 1300万円

【教育費】

●小学校施設設備改修工事 170万円

●都市小学校交流活動助成金 40万円

●野球グラウンド用照明電源設置工事 38万円

【災害復旧費】

●道路補修委託料 200万円

●重機借上料 406万円
●道路災害復旧工事 2029万円

北海道町村議会 議員研修会に参加

6月27日、札幌コンベンションセンターにおいて、全道町村議会議員を対象とした研修会が開催され、本町からも全議員が参加。

研修会では、講師の慶応義塾大学教授 片山善博氏が「議会改革に期待する」と題して、また、政治アナリスト 伊藤惇夫氏が「今後の政局・政治展望」と題して講演され、参加した議員は、今後の議会活動に向けて研鑽を深めた。



議員研修会（6月27日）

3月定例会以降の経過について、小林康雄町長より報告がありましたので、要約してお知らせします。

消 防の広域化

5月13日開催の市町村長会議において、国の財政制度を見据えた起債計画の変更を行うと共に本部体制を一部見直すことなどを確認。今後は、広域消防運営計画の策定に向けた検討を行う。

農 業共済事業の組織再編

昨年12月から十勝NOSAとの再編協議が第2段階に入った。本町の高い加入率や効果的なサービス等が維持できるように検討委員会で強く主張することも、今後も関係機関等と情報交換をしながら協議して行く。

フ レッツ光サービス 中土幌地区9月開始

NTT東日本に要請していた中土幌地区のフレッツ光サ

行政報告

太陽光発電所 建設工事

土幌町発祥の地中土幌太陽光発電所建設工事の請負契約を締結。本年12月末の完成、明年1月からの発電を目指し工事を進める。

簡 易水道事業の整備

本年度は浄水場の電気設備工事として受電設備、取水設備、配水設備と施設制御設備の工事を実施する。

農 地・水保全管理 支払交付金事業

農村部全地域で実施され、各保全隊とも4月に地域内の資源点検を行い今年度の事業計画を策定し、活動に着手している。町はこれまで同様、保全隊の取り組みを積極的に支援していく。

出村 寛 議員	美濃市との災害時相互応援協定について
和田 鶴三 議員	介護保険支援対策について
飯島 勝 議員	士幌町の活性化について
清水 秀雄 議員	照明等のLED化について
服部 悦朗 議員	再生可能エネルギーの対応について

災害協定

災害時の相互応援協定締結を

美濃市との協議を行っていく



出村 寛 議員

質問 政府の地震調査委員会および中央防災会議では、姉妹都市の美濃市、本町とも阪神・淡路大震災と同規模の被害が発生するおそれがあると報じられている。民間交流や小学生のフレンドシップ交流などで双方の住民のつながりが深くなっている美濃市と、災害時に素早く支援ができるように災害時相互応援協定を締結してはどうか。

小林町長答弁 平成6年4月30日に美濃市との姉妹都市提携調印後、双方の住民の交流を通じてつながりが強くなっている。迅速かつ効果的な相互支援を行うべく、災害

時



東日本大震災時の支援訪問（平成23年6月 大槌町）

時の相互応援協定締結について美濃市との協議を行ってきたい。

質問 本町としてはどのような支援策が考えられるか。

小林町長答弁 相手方がどのような支援を求めているかという点に応じて支援をしていくことになる。例えば美濃市

で大きな被害があれば市役所機能と災害復旧の手伝い等で、職員に限らず町民の方々の参加もいただいで、復旧作業等の支援を行うことを想定している。

介護保険

要支援1・2の方への支援対策は

町独自の地域支援事業で検討



和田鶴三 議員

質問 厚生労働省は、要支援1および要支援2と認定された人に対するサービスを、将来は介護保険制度から切り離すことも含めて見直していく方針を固めた。介護保険制度から切り離された要支援者は、自治体の支援なくしては生活が成り立たないのは明らかである。この人たちに対する支援対策について、どのように考えているか。

小林町長答弁 今回の制度見直しの動向も踏ま



軽体操で介護予防(脳晴ればれ教室)

えながら、次年度に行う第6期の介護保険事業計画および高齢者保健福祉計画の策定の中で、高齢者の介護予防給付事業とあわせて町独自で行う地域支援事業での要支援者対策を検討していきたい。

平成25年 第2回定例会

一般質問

6月定例会では、5人の議員が一般質問に登壇し理事者の考えをたどりました。内容を要約してお知らせします。全文は議会HPに掲載します(9月中旬予定)

質問 要支援1および2

に認定された人は、経済的に大変な負担になるのではないかと。安心して介護が受けられ、経済的な理由で辞退する人が増えることのないように、今後町としても協議の場をつくり検討していただきたい。

小林町長答弁 介護保険制度

そのものが非常に厳しい状況になっているが、安定した制度になるよう町村会などを通じて強く要望し、必要な人が必要な医療介護を受けられるように町として最大限努力をしていきたい。

町の活性化

町民ニーズの把握とその具現化は

一緒に考え、一緒に汗をかき、一緒に町づくり



議員 飯島 勝

質問 本町の活性化について、消極的な町民が多いように感じるが、今後、町の活性化を図るために町民のニーズをどのように把握し、具現化していくのか。

小林町長答弁 協働の町づくり

協働の町づくりを目指す上で、町民のニーズを的確に捉えること、情報を共有すること、町民の町づくりへの参画は極めて重要

である。町民のニーズの把握は、町づくり懇談会をはじめ、ユートピアメールや出前講座などを通じて把握に努めている。特に、女性や青年の皆さんに参画いただくことは重要と考えており、女性サミット、青年サミットを開催するとともに、担い手育成事業も推進している。

ニーズの具現化については、課長会議における検討に加えてオータムヒアリングや政策調整推進会議などを設置して、町民ニーズの把握、市内の共通認識の形成を行い、

具現化を図っている。

質問 協働とは、目標を共有し協力して仕事をすることが言葉の意味だが。

小林町長答弁 一緒に考え、一緒に汗をかき、一緒に町づくりをしていく、そういう理念で推進している。

小林町長答弁 一緒に

考え、一緒に汗をかき、一緒に町づくりをしていく、そういう理念で推進している。

LED化

消費電力の削減と経済効果を

防犯灯は実施、庁舎は耐震化対策と合わせて検討



議員 清水秀雄

質問 電気を原子力発電

に頼らず、再生可能エネルギーに転換していく努力と同時節電を積極的に考えるべきである。役場庁舎をはじめ公共施設の全ての照明のLED化、街路灯および防犯灯をLED化することにより、消費

電力の大きな削減と経済効果が得られると考えるが。

小林町長答弁 公共施設全

てをLED化するには低価格化が進んでいるとはいえ、多額の経費も必要なことから、公共施設の改修や照明機器の修繕等とあわせてLED化を図るよう努めたい。役場庁舎については、来年度から実施する耐震化等改修工事での実施を検討したい。

街路灯および防犯灯について



春と秋に行われる町づくり懇談会

では、本年度予算で防犯灯約310基をLED化し、7月末に完成予定である。

質問 例えば1000ワットの街路灯は、同じ明るさでLEDだと19ワットで5分の1以下の消費電力になる。一時的な投資は大きいですが、それ以上に経済効果を得られると思うが。

小林町長答弁 照明灯約589基をLED化するに年間、電気料が580万円ほど軽減されるが、一方コスト面では、灯具だけ換えただけでも1億9400万円くらいかかる。具体的な実施について

は有利な財源、価格動向を含めできる限り早く実施できる方向で検討したい。



LED化される防犯灯

地域新エネルギービジョンを策定し、二酸化炭素排出量削減目標を掲げ、新エネルギー導入プロジェクトにより目標達成を目指している。本年度は町がメガソーラー発電所を建設し、再生可能エネルギーの地産地消、利益の地域住民への還元、地域の活性化を図る。これからの取り組みとしては、地域循環型エネルギーシステム構築と環境に優しい低炭素型社会の実現を目指し、より積極的に推進していく。

小林町長答弁 本町では、

本町では、

本町におけるバイオガスのこれからの取り組みは。

小林町長答弁 事業は、農業を中心に推進していく考えである。

質問 十勝はバイオマス産業都市に認定されたが、本町の取り組みとバイオマス産

業都市構想をどの様に結びつけるのか。

小林町長答弁 発電だけでなく畜産環境の改善、労力の軽減等を考え普及推進し、できる限りバイオマス産業都市構想の中に盛り込みながら有利な条件で進めていきたい。

業都市構想をどの様に結びつけるのか。

エネルギー

今後の再生可能エネルギーの取り組みは

バイオガスを中心に太陽光発電も推進



議員 服部悦朗

質問 本町では従来から

バイオガスの利用拡大が図られ、今年度の事業で太陽光発電も実施されるが、今後の再生可能エネルギーの取り組みは。



工事が進む中土幌太陽光発電所

議会日誌

「4月」

- 2日 広報特別委員会
- 15日 広報特別委員会
- 17日 十勝町村議会議長会定例会
- 23日 広報特別委員会

「6月」

- 23日 十勝圏活性化推進期成会定期総会
- 28日 第3回議会臨時会
- 5日 北海道町村議会議長会定期総会
- 10日 議会運営委員会
- 12日 土幌農協通常総会
- 13日 第2回議会定例会

「5月」

- 2日 第2回議会臨時会
- 2日 全員協議会
- 2日 広報特別委員会
- 15日 産業厚生常任委員会
- 17日 土幌町商工会通常総会
- 17日 土幌町観光協会総会
- 23日 東日本大震災支援協議会
- 27日 北海道町村議会議長会議員研修会
- 10日 議会運営委員会
- 12日 土幌農協通常総会
- 13日 第2回議会定例会
- 13日 全員協議会
- 17日 総務文教常任委員会
- 17日 産業厚生常任委員会
- 17日 広報特別委員会

その後どうなったの!?

子どもホームページ

質問 24年12月 第4回定例会

子どもホームページの開設を

町のホームページには子どもへの情報発信がないが、子どもが自分の町を知り、学習できるような子ども向けのページを設けてはどうか。

答弁

導入の方向で検討

本町は子育て支援対策を重点施策として進めている。ぜひ、導入する方向で検討したい。

その後

8月1日「キッズページ」公開

一般質問を受け、子どもホームページの作成を開始。「キッズページ」として8月1日公開され、子どもたちが楽しみながら自分の町を学習できるような情報が発信されている。また、小学校3・4年生で勉強する社会科副読本「しほろ」の閲覧もできる。

キッズページは町公式ホームページから。
<http://www.shihoro.jp/>



「キッズページ」をみてみよう!

住宅リフォーム助成

質問 24年6月 第2回定例会

住宅リフォームに助成を

住宅リフォームを行う場合に、経費の一部を助成してはどうか。町内の関連産業を中心として幅広い経済波及効果が得られると考えられるが。

答弁

経済効果を調査し、実施に向け検討

地域の事業や雇用の拡大にどのくらい波及効果があるのか、全体的な町民のニーズや経済効果を調査し検討したい。

その後

平成25年4月より助成を実施

町内経済の活性化を促進するため商工会と連携し、本年4月から助成を実施。

町民が町内の施工業者を利用して自宅のリフォームを行う場合（工事額30万円以上が対象）、10%相当の商工会発行の商品券（限度額10万円）を助成する。

※助成対象の要件、助成金額等は事前に商工会または役場産業振興課にお問い合わせを。



自宅のリフォームは町内業者で



かけ橋

会長就任にあたって

土幌町社会福祉協議会 会長 鎌田 弘美さん

私は、先の役員改選において、会長という重責を担う事となりました。もとより、そのような器ではございませんが、役員皆様のお力添えを賜りながら、土幌町社協の円滑な運営を通して地域福祉の充実と発展のために、微力ではありますが全力を挙げて取り組んで参りますのでよろしくお願いたします。

私の役職改選において、会長という重責を担う事となりました。もとより、そのような器ではございませんが、役員皆様のお力添えを賜りながら、土幌町社協の円滑な運営を通して地域福祉の充実と発展のために、微力ではありますが全力を挙げて取り組んで参りますのでよろしくお願いたします。

幸いにも土幌町では、多くの皆様にサロンや、配食サービス、ふまねっと・ガンパルーン・お楽しみ昼食会等々にボランティア活動としてご協力をいただいております。今後、大感謝をしております。今後、より多くの方々にボランティアとして活動していただけるよう社会福祉協議会としても働きかけ、支援をして参りたいと思っております。

現在、土幌町社会福祉協議会の事務処理は「総合福祉センター」の一角をお借りして行っていることから、町民の中には役員組織の一部と誤っている方もおられると思いますが、あくまでも「社会福祉活動を推進するための、営利を目的としない民間の組織」であります。民間と言っても、要する運営資金の大半は、行政か

私の、このような状況の今こそ、地域での助け合いや協力が必要であると考えております。つまり、地域福祉の推進には、地域の協力が不可欠であり、身近にある地域の福祉問題に目を向け、地域を繋ぐ役割として、ボランティア活動をしていたただく町民の皆様が存在が欠かせないものと思

また、支援を必要とする高齢者の方々等が住み慣れた地域で安心安全に生活が出来るように、日常的な見守りや災害時の支援が出来る仕組み作りも早急に構築して参りたいと存じます。

今後、町民の皆様のご信頼と期待にこたえるために、地域の福祉ニーズに常に耳を傾けることも、地域に密着した活動を展開できる土幌町社会福祉協議会を目指して参りますので、土幌町議会の始め、町民皆様の温かいご支援とご協力を切にお願い申し上げます。会長就任にあたってのご挨拶といたします。

今後、町民の皆様のご信頼と期待にこたえるために、地域の福祉ニーズに常に耳を傾けることも、地域に密着した活動を展開できる土幌町社会福祉協議会を目指して参りますので、土幌町議会の始め、町民皆様の温かいご支援とご協力を切にお願い申し上げます。会長就任にあたってのご挨拶といたします。

今後、町民の皆様のご信頼と期待にこたえるために、地域の福祉ニーズに常に耳を傾けることも、地域に密着した活動を展開できる土幌町社会福祉協議会を目指して参りますので、土幌町議会の始め、町民皆様の温かいご支援とご協力を切にお願い申し上げます。会長就任にあたってのご挨拶といたします。

の福祉ニーズに常に耳を傾けることも、地域に密着した活動を展開できる土幌町社会福祉協議会を目指して参りますので、土幌町議会の始め、町民皆様の温かいご支援とご協力を切にお願い申し上げます。会長就任にあたってのご挨拶といたします。

ナイター議会開催

9月13日予定

第3回定例会は、9月6日から開催を予定しています。
また、2回目となるナイター議会を13日(金)に予定していますので、多くの皆様の傍聴をお待ちしています。

※詳しい日程が決まりましたらチラシでお知らせします。



議会だより149号が皆様の手元に届く頃には、小麦の収穫を終え農家の皆さんは大変お疲れの事と思います。TTP参加は、土幌農業の崩壊に繋がるのみでなく医療、雇用、食の安全など経済・社会を土台から破壊し、日本の主権を脅かすものであります。議会は、町民の皆様と共に反対運動を展開して参ります。(議会では3月定例でTTP参加反対の意見書を提出)

第二回定例では、医療費の高騰に伴い、町民皆様に直接関係する国保条例の改正がありました。内容は、医療費分を据え置きし、後期高齢者支援金および介護納付金分の税率を改正するもので実質の負担増となります。議員一人ひとり、苦渋の決断を強いられ、採決では反対2人、賛成9人で原案どおり可決しました。

議会だよりを通じて、議会の活動を身近に感じていただけるよう分かりやすく魅力ある構成に努めておりますので、皆様のご意見をお寄せ下さい。

秋間 紘一